



令和5年度 赤ちゃんとふれあい体験学習を開催しました(鶴居中学校 10月27日実施)



村では赤ちゃんとふれあう機会の少なくなった思春期の中学生を対象に、助産師さんからの講話や赤ちゃんやその保護者の方とのふれあいにより「親になることの責任」、「赤ちゃんのかわいらしさ」、「生命の尊さ」などを肌で感じ取ってもらうことを目的に赤ちゃんとふれあい体験学習を開催しています。

(鶴居中学校では毎年中学3年生に、幌呂中学校では3年に1度全学年を対象)。

令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、赤ちゃんとふれあいや保護者の方との交流は中止せざるを得ない状況となっておりましたが…**今年はようやく、なんと4年ぶりに生徒さんと赤ちゃんとふれあいが実現しました!**(ご協力いただいた保護者のみなさん本当にありがとうございます!) 最初はとても緊張していた生徒さん達も赤ちゃんとふれあう中で表情も柔らかくなり、



笑顔で赤ちゃんと接する場面がたくさんみられました。保護者の方に対しても一生懸命質問を投げかけ、命の尊さ、保護者の方たちの赤ちゃんに対する思いなどを真剣に受け止めている様子がありました。

また、釧路赤十字病院の助産師さんに今年度もご協力いただき、いのちの誕生、受精から出産、性感染症についてのお話を聞きました。命の奇跡、自分や人を大切にすることについて学ぶ機会となりました。

参加した生徒の皆さんやご協力いただいた保護者の方から、今回の事業を通して感じたことや学んだことなど、率直な感想をいただきましたので、アンケートの集計と併せ一部をご紹介します。



鶴居中学校(令和5年10月27日開催)

(*) : 5%水準で有意差あり

●赤ちゃんが好きですか? (*)

	体験前(人)	体験後(人)
好き	17	23
わからない	9	0
嫌い	0	0

●赤ちゃんに対するイメージは?(重複回答)

	体験前(人)	体験後(人)
弱々しい	4	1
よく泣く	15	11
やかましい	0	1
かわいい(*)	21	23
一人では何もできない	3	1
元気	17	19
大きくなる	7	11
その他	1	0

●赤ちゃんを育てることについてどう思いますか?(重複回答)

	体験前(人)	体験後(人)
大変そう	24	22
つらそう	2	1
忙しそう	13	9
めんどろそう	0	0
自由な時間がない	1	5
楽しそう(*)	9	19
幸せそう(*)	14	20
すばらしい	6	8

●親に対するイメージは?(重複回答)

	体験前(人)	体験後(人)
口うるさい	6	1
わずらわしい	0	0
厳しい	2	4
威厳がある	2	1
ありがたい	15	18
頼りになる	15	17
安心感がある(*)	12	20
その他	1	0

●赤ちゃんとふれあい体験学習は楽しみか。(体験前)ふれあい体験をしてよかったか。(体験後) (*)

	体験前(人)	体験後(人)
はい	18	23
わからない	8	0
いいえ	0	0



中学生(鶴居中学校)の感想 ※一部抜粋

【助産師さんの話で感じたこと】

- ・赤ちゃんが1か月でビー玉くらいからみかん1個と成長スピードがはやいのが驚いた。体重が60億倍くらいになるのを初めて知れた。感染症も怖いし、この話を活かして人と関わり方を考えることができてよかった。
- ・今後の自分の行動には責任を持つべきだと思った。自分にも相手にも理解を深めるために大切な話だった。
- ・生まれてくれるということはあたりまえではないということが改めて分かった。自分の命を大切にしようと思った。
- ・避妊についてなどの話はみんなでもあまりしないので、助産師さんの生の声を聞いて他人事ではないんだなと感じた。恥ずかしがらずにこういう性についての勉強も必要だと実感できた。

【赤ちゃんとのふれあいで感じたこと】

- ・成長にも個人差があるけど、活発だと思った。赤ちゃんを育てることは難しいことだけど笑顔を見ることができたら本当に幸せな気持ちになった。
- ・赤ちゃんはやわらかくて温かくだっこした時など触れあっているととても気持ちがよかった。赤ちゃんとくらししていると大変なこともたくさんあるが楽しい生活が送れると思った。
- ・赤ちゃんは色々な表情をするし、いろんな動きをしていてとてもかわいいと思いました。
- ・赤ちゃんの成長は本当に個人差があるということが分かった。可愛いなと思った。自分も早く育てる立場になりたいと思った。
- ・可愛いという言葉では言い表せないほどにいとおしかったです。
- ・お母さんと赤ちゃんだけでなく、お父さんと赤ちゃん、お母さんとお父さんでのコミュニケーションが大事だと気づいた。赤ちゃんが赤ちゃんでいる時間は限られているから、保護者の方がとても大変な中、その時間で幸せを感じているんだなと思えた。



協力していただいた保護者の方から中学生へメッセージ

- ・たくさんあそんでくれてありがとうございました。お互いに本当に良い経験になりました。場所見知りしないか、心配でしたが無事に終わって良かったです。中学生のみなさんも周りにいる妊婦さんや小さいお子さん連れのママなどにもやさしくしてくれると嬉しいです。今日はありがとうございました。
- ・コロナの影響もありなかなか人と触れあう機会が減っているので、今回参加させて頂き私たち親子も良かったです。命の大切さ、重さを感じて頂いて、素敵なお大人になってもらいたいです！またこういう機会があればぜひ参加したいと思います。
- ・大変なことが多いという印象が強かったと思いますが、それだけではなく楽しいことや嬉しいこともたくさんあることを知ってほしいなと感じました。いっぱい泣いちゃってすみませんでした。

ご協力いただきました保護者の方々、関係各所のみなさま本当にありがとうございました！

鶴居村不妊治療等助成金交付事業についてのお知らせ

村では、不妊治療を受けている方の治療費や交通費等の経済的負担を軽減するため不妊治療等助成金交付事業を開始しました。令和5年4月1日以降に開始した治療が対象です。

【対象となる治療・交通費】

- （治療費）
 - ・保険診療として受けた一般不妊治療及び生殖補助医療
 - ・保険診療の不妊治療と併用して実施された先進医療
- ※「先進医療」については、厚生労働省にて告示された技術であること、実施医療機関として厚生労働省へ届出又は承認されている医療機関で実施されたものであることが要件です。

（交通費）

- ・自宅から医療機関までの距離が片道50kmを超える方が対象

【助成額】

- （治療費）1回の治療につき、上限20万円
※不妊治療に要した額から、高額療養費や付加給付金等の補助額を除いて、最終的な自己負担

額に対して上限額を限度に助成します。

- （交通費）1回の検査・治療に対して5回を上限距離に応じ交通費等の一部を助成します。

【対象者】

- ・夫婦が治療期間初日において、鶴居村に住所を有している方
- ・婚姻をしている夫婦（事実婚関係にある者を含む）
- ・夫婦ともに村税に滞納がない
- ・同一の治療に関して、他に同等の助成を受けていない

【申請期限等】

治療が終了した日から数えて1年以内に、各種必要書類を添えて窓口にて申請が必要です。

【お問い合わせ先】

保健福祉課保健師 TEL0154-64-2116